

バイオマス取組事例概要

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 バイオマス活用協議会会長賞)

中四国

・応募主体

岡山県農林水産部

・都道府県・市町村

岡山県

・取組分野

BDF等燃料(木質バイオマスエタノール)

取組概要

木質バイオエタノールの製造から自動車燃料としての利用に至る「完全地産地消型」モデル実験を、全国に先駆けて実施。

県の助成により木材事業協同組合が製材所残材・間伐材のチップ(6t)を収集し、エタノールの原料として、三井造船(株)が真庭市内に建設した「木質バイオエタノール製造実証プラント」に供給。県は真庭市とともに、三井造船が製造したエタノールの無償提供を受け、県内製油所に委託してE3(8,000㎘)を製造し、地元木材共販所にある危険物保管施設に一時保管した後、真庭農協の所有する給油所に輸送。当該給油所にE3給油用として新たに整備されたタンク内蔵型計量器により県や真庭市の公用車に給油し、燃料として利用する取組を平成17年10月から開始。

バイオエタノールの製造から自動車燃料としての利用に至る全ての工程を県内で実施する、「完全地産地消型」モデル実験を全国に先駆けて実施。

